

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-124362

⑬ Int. Cl. 4

A 01 K 23/00
1/01

識別記号

府内整理番号

7416-2B
B-7196-2B
Z-7196-2B

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月12日

審査請求 有 (全2頁)

⑮ 考案の名称 動物の自動連続異物処理器

⑯ 実 願 昭62-16981

⑰ 出 願 昭62(1987)2月6日

⑱ 考案者 岡田 美夜子 東京都練馬区旭丘2-41-2-615

⑲ 出願人 岡田 洪至 福岡県北九州市戸畠区一枝2丁目5番11-207

⑳ 実用新案登録請求の範囲

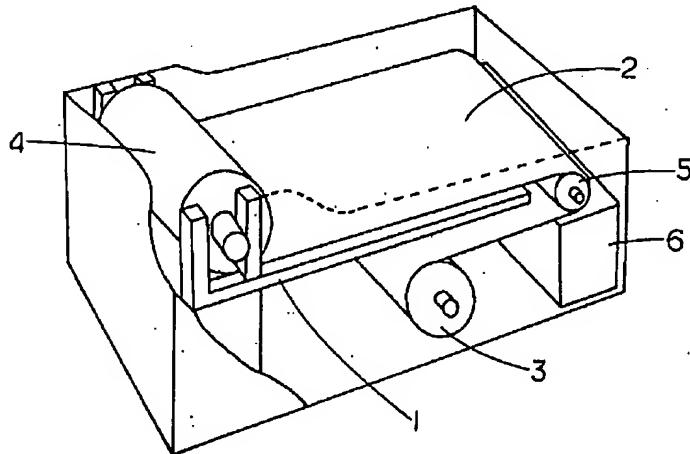
動物の体重を感知する検知器によつて作動開始される動力によつて回転する巻き取りロールによつて、使用済みの紙、布等の可撓性薄膜が巻き取られる一方、動物の所定排泄場所には、未使用的連続した同薄膜が新規に供試せられることを特徴とする動物の自動連続異物処理器。

㉑ 図面の簡単な説明

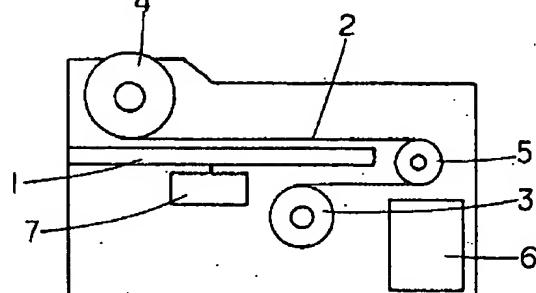
第1図は本考案の一例の斜透視図である。第2図は第1図の断面スケルトン図である。

符号の説明、1……排泄台、2……可撓性薄膜、3……巻き取りロール、4……薄膜供試ロール、5……反転ロール、6……簡易収納容器、7……検知器。

第1図



第2図



補正 昭62. 3. 8

実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

所定異物排泄台の上に敷かれた紙、布等の可撓性薄膜上に排泄する動物の体重を感知する検知器

によって作動開始する動力により回転する巻き取りロールによって、使用済みの紙、布等の可撓性薄膜が巻き取られる一方、動物の該排泄台の上には、未使用の連続した同薄膜が新規に供試せられることを特徴とする動物の自動連続異物処理器。